

放射性核種分析装置解析プログラムの不具合に関する 調査結果について

平成21年11月4日
北陸電力株式会社

当社は、志賀原子力発電所で使用している放射性核種分析装置¹における解析プログラムの不具合について、外部環境への影響はもとより、法令や安全協定に基づく報告に影響がないこと等を確認し、本日(11月4日)、原子力安全・保安院に報告いたしましたので、お知らせいたします。

これは、志賀原子力発電所で法令や安全協定に基づく報告に使用している放射性核種分析装置において、放射性核種の測定時の値を採取時に遡って補正するプログラムの一部に誤りがあり、一部の放射性核種について採取時の値が正しく計算されていなかったもので、10月8日に製造メーカーより連絡を受けるとともに、原子力安全・保安院より影響範囲・程度等に関して詳細に調査を行い報告するよう指示を受けております。

調査の結果、今回のプログラム誤りの対象となっている放射性核種は、これまでの気体・液体廃棄物の放出管理や環境モニタリングにおいては検出されていないため、外部環境への影響はもとより、法令や安全協定に基づく報告に影響がないことを確認いたしました。

なお、法令や安全協定に基づく報告以外で、過去2回の定期検査(総合負荷性能検査)において測定した原子炉水の放射能濃度にプログラム不具合に伴うわずかな数値の違いが生じていましたが、安全上の問題及び検査への影響がないことを確認しております。

以上

添付資料：放射性核種分析装置解析プログラムの不具合に対する調査結果

1 放射性核種分析装置

大学、研究機関など一般にも幅広く使われており、志賀原子力発電所では放射性気体・液体廃棄物の放出量や環境モニタリング試料の測定、原子炉水などの放射能濃度を測定し、測定結果は、放射線管理等報告書、放射線業務従事者線量等報告書及び石川県、志賀町との安全協定に基づく報告並びに保安活動に伴う品質記録等に使用している。

放射性核種分析装置解析プログラムの不具合に対する調査結果

1. 法令や安全協定に基づく報告

調査の結果、今回のプログラム不具合の対象となる放射性核種がなかったことから、測定結果への影響はなかった。

原子力安全・保安院への報告

- ・原子力発電所運転状況の報告
- ・放射線管理等報告書
- ・放射線業務従事者線量等報告書
- ・トラブル報告類

安全協定に基づく石川県・志賀町への報告

- ・原子炉施設運転状況等報告書
- ・周辺環境放射線測定結果報告書

2. 法令や安全協定に基づく報告以外

調査の結果、過去2回の定期検査（総合負荷性能検査）成績書において、原子炉水の放射能濃度が異なる結果となったが、正しい補正計算による数値の方が成績書に記載した数値より小さく、検査への影響はなかった。

成績書名	原子炉水 全放射能 (Bq/cm ³)		
	現状記載値		再計算値
1号機第8回定期検査 (総合負荷性能検査)成績書	8.7 × 10 ¹		8.6 × 10 ¹
2号機第1回定期検査 (総合負荷性能検査)成績書	5.5 × 10 ²		5.4 × 10 ²

以上